

主な議案の内容

★平成22年度小郡市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)の承認について(議案第40号)

平成20年度分の清算の老人保健医療費拠出金や平成21年度の事業費の確定に伴う国への返還金などで総額478万6千円を補正するもの。

★平成22年度小郡市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)の承認について(議案第42号)

介護認定調査の増加に伴う訪問調査員の報酬や高額介護と高額医療を合算し高額分を返還する高額医療合算介護サービス費及び事業費の確定に伴う返還金などで総額2,724万3千円を補正するもの。

★平成22年度小郡市介護保険事業特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第1号)の承認について(議案第43号)

地域包括支援センターのケアマネージャー6名分の社会保険料として10万9千円を補正するもの。

★平成22年度小郡市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

の承認について(議案第44号)

都道府県が、公共事業の一定割合を地元市町村に支出させる、市町村負担金」が昨年から見直された結果、流域下水道の当初予算では、事業費のみの計上であったが、流域下水道は、特定の利益になるため、事務費も負担するもので、筑後川中流右岸流域下水道事業負担金652万円など総額524万8千円を補正するもの。

★平成21年度小郡市一般会計歳入歳出決算認定について(認定第1号)

歳入決算額 177億5,476万8千円で対前年比5.6%増。歳出決算額171億2,476万6千円で対前年比10.0%増。歳入歳出差引額は6億3,000万2千円のプラス、実質収支額は6億568万円のプラス。

★平成21年度小郡市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について(認定第2号)

歳入決算額55億69万3千円で対前年比8.2%増、歳出決算額60億2,856万円で対前年比5.6%増。歳入歳出差引額は5億2,786万7千円のマイナスで、この赤字分は、22年度から繰上充用するもの。

★平成21年度小郡市老人保健事業特別会計歳入歳出決算認定について(認定第3号)

歳入決算額1,368万9千円で対前年比97.6%減、歳出決算額708万8千円で対前年比98.8%減。歳入歳出差引額は660万1千円のプラス。

★平成21年度小郡市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について(認定第4号)

歳入決算額 6億1,649万3千円で対前年比8.6%増、歳出決算額6億61万3千円で対前年比8.7%増。歳入歳出差引額は1,588万千円のプラス。

★平成21年度小郡市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算認定について(認定第5号)

歳入決算額 28億1,963万5千円で対前年比1.9%減、歳出決算額 27億8,519万9千円で 対前年比1.0%増。歳入歳出差引額は3,443万6千円のプラス。

★平成21年度小郡市介護保険事業特別会計(介護サービス事業勘定)歳入歳出決算認定について(認定第6号)

歳入決算額 2,396万2千円で対前年比9.3%増、歳出決算額2,076万9千円で対前年比7.9%増。歳入歳出差引額は321万3千円のプラス。

★平成21年度小郡市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について(認定第7号)

歳入決算額 21億7,880万円1千円で 対前年比4.4%減、歳出決算額21億7,96万4千円で対前年比4.4%減。歳入歳出差引額は83万7千円のプラス。

★平成21年度小郡市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について(認定第8号)

歳入決算額1,246万円で対前年比24.5%増、歳出決算額316万8千円で対前年比325.6%増。歳入歳出差引額は929万2千円のプラス。

千円で対前年比9.3%増、歳出決算額2,076万9千円で対前年比7.9%増。歳入歳出差引額は321万3千円のプラス。

★平成21年度小郡市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について(認定第7号)

歳入決算額 21億7,880万円1千円で 対前年比4.4%減、歳出決算額21億7,96万4千円で対前年比4.4%減。歳入歳出差引額は83万7千円のプラス。

★平成21年度小郡市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について(認定第8号)

歳入決算額1,246万円で対前年比24.5%増、歳出決算額316万8千円で対前年比325.6%増。歳入歳出差引額は929万2千円のプラス。

★小郡市議会議政務調査費の交付に関する条例の制定について(議案第38号)は、制度の趣旨、内容等について改めて市民の合意形成を図るための再検討を行う必要があるというところで取り下げられました。

議案撤回

★小郡市議会議政務調査費の交付に関する条例の制定について(議案第38号)は、制度の趣旨、内容等について改めて市民の合意形成を図るための再検討を行う必要があるというところで取り下げられました。

決算審査特別委員会報告

平成21年度決算の認定議案(認定第1号から第8号)が市長から議会に提案されました。

議会では、18名全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月6日、7日、8日及び21日の4日間で審査を行いました。主な審査内容を一部報告します。

職員研修について

問…職員専門研修について。答…今後地方分権によって、県から様々な仕事に移譲されてくるので、専門性を確保するために、現行の研修だけでなく、学校などへも派遣していきたい。

心身障害者福祉について

問…心身障害者の人数の変化について。答…高齢者が増えてくる関係で障害者も増加傾向にある。本年4月1日現在で身体障害者が2,042名、知的障害者が314名、精神障害者が195名の合計2,551名が障害者として認定されており、年々微増している。